

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	



標高1,625m。青森県の最高峰で日本百名山及び新日本百名山に選定され、その山容から「津軽富士」と呼ばれるほか「お岩木山」「お岩木様」とも呼ばれています。

岩木山（青森県鱒ヶ沢町より令和4年2月中旬に撮影）[提供：津軽森林管理署]

高校生への職場説明&見学会について

岩手南部森林管理署遠野支署

遠野市内の高校1年生が、市内の企業や事業所を見学して、進路選択の目安とするよう企画された「遠野地区高校生企業見学会」が12月7～8日に開催され、当支署には県立遠野緑峰高等学校と県立遠野高等学校の計24名の生徒が訪れました。

見学会では、職員が林野庁の組織や国有林野事業の紹介、森林管理署や森林事務所での各業務の説明、公務員の労働条件などを自己の体験を踏まえながら紹介しました。

高校生からは「楽しそうな職場であると同時に大変そうな職場であると感じた」「森林管理署職員が公務員だと知らなかった」等の感想があり、森林管理署の業務について知ってもらえた事は良かったのですが、林野庁や森林管理署についてもっとアピールしていく必要性を感じました。



高校生見学会の様子

当支署では、今回の職場見学会の他にも、令和4年度の5月17、18日に遠野市内の高校生及び新規学卒者等への就職説明会に参加し、森林・林業・木材産業関連の仕事に興味を持ってもらう働きかけをしています。

森林は、国土保全、水源の涵養、地球温暖化の防止等の多面的な機能を有しており、その発揮を通じて国民生活に様々な恩恵をもたらしています。一人でも多くの方が就職してくれることを願って、今後も地域の一員として森林や林業の魅力についてお伝えしていきたいと思えます。

下北ジオパークへのご案内

下北森林管理署

ジオパークとは、地球・大地（Geo）と公園（Park）を組み合わせた言葉で、大地から地球の歴史を知り、人間が地球とともに発展できる未来を目指して活動する地域のことをいいます。

地域の人々の手で守られてきた太平洋・津軽海峡・陸奥湾の3つの海に囲まれた、まさかり形の下北地域、その大地は複雑な成り立ちをもち、生き物たちの生命と文化を育てています。

「下北ジオパーク」は、下北5市町村（むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村）をエリアとし2016年に日本ジオパークに認定され、地域資源を大切に保全しながら研究活動や教育、地域振興に取り組んでいます。

当署でも下北ジオパーク推進協議会にアドバイザーとして参加し、エリア内に点在するサイト（保全すべき場）となっている「大畑ヒバ施業実験林」や「猿ヶ森ヒバ埋没林」のモニタリングに同行し現地での状況確認等に協力しているほか、遊歩道の整備や海岸清掃のゴミ拾いに参加するなど保全・研究を中心にジオパークの活動に参加しています。



モニタリングの様子

みなさんもぜひ実際に訪れて、景色や食を楽しみながら、海と大地から生まれた恵みと半島のくらしを体感してみたいと思います。

地域の路線・林道の早期復旧に向けて

米代東部森林管理署

令和4年8月8日から15日にかけて、前線が日本海から北日本に停滞し、青森県、秋田県北地域を中心に大雨をもたらしました。当署管内でも、鹿角市では1日の雨量が260ミリを超え、時間雨量が90ミリ（傘は全く役に立たなくなるレベルの雨）、大館市、北秋田市では1日の雨量が160ミリを超えるなど管内全域の林道で相当数の被害が発生した記録的な豪雨となりました。

当署の林道は、国有林野事業を含め地域の森林整備をはじめとし、農地、牧場やインフラの管理道、登山道へのアクセス道などとして地域の方々にとっても重要な路線となっています。そのため、署内一丸となって被災状況の早期把握に努め、地域や市町村の要望に応えつつ林道修繕作業や応急復旧を進めてきました。



林道の被災状況をドローンにより把握

現在、確認された300箇所近い被災箇所のうち、新たに排水施設等の設置が必要な復旧困難な約70箇所について、来年度以降の災害復旧工事に向けての準備を進めています。

今年度発生した豪雨災害の被害は甚大であり、復旧に時間を要しますが、引き続き関係自治体と連携し、地域のために豪雨災害からの早期復旧、災害に強い道づくりに取り組んでいきます。

防風保安林の清掃活動

津軽森林管理署金木支署

当支署は青森県津軽半島の日本海側にある国有林を管理しています。日本海沿岸に位置する十三湖は海水と淡水が混じり合う汽水湖で、ヤマトシジミが生息しています。地域の漁業者によるシジミ漁業が主要な産業となっており、漁獲制限や禁漁期間を決めて資源維持を行っています。また、ハクチョウが飛来する自然豊かな湖です。

その十三湖湖畔の五月女^{そとめやち}地区は、日本海からの風が強い地区のため、海岸線に沿って南北に約23kmにわたるクロマツ等の国有林が重要な役割を果たしています。

国有林が後背地にある集落及び耕作地を風から守る防風保安林となっているのです。



日本海からの風を防ぐ防風保安林

しかし、保安林内には空き缶・ペットボトル等のポイ捨てや日本海からの漂着ゴミが多いため、当支署では、地元自治体、森林ボランティア巡視



空き缶、プラスチックゴミ等を回収している様子

員等と連携しながら10年以上継続して清掃活動を実施し、美しい森林づくり・美しい海岸林の保全活動を続けています。

今後も地元の方々の安心した暮らしと産業の発展を期待し、清掃活動や不法投棄防止のPR活動を行いながら、防風保安林の保全に取り組んでいきます。

小学生を対象とした森林教室の実施

岩手北部森林管理署

当署では、八幡平市内の小学校からの依頼により、森林教室において森林のはたらきや植生について児童に説明を行っています。

対象児童の年齢層が広いため、児童の理解度に応じたプログラムを組むとともに、「分かりやすく覚えやすく」という点を重視して実施しています。児童に植生の名前だけではなく、名前の由来について葉の形を見せ、「何に似ているか」などクイズを出題し、自ら考えてお互いに意見を出し合ってから回答を教える手法を用いています。回答者には「なぜそう思ったか」と問いを投げかけ、より記憶に残るよう心がけています。



楽しく学ぶ児童たち

今年度からは森林教室の後に児童へアンケートを行い、感想や今後知りたいことなどを記載してもらいました。その結果、植生のみならず、森林に生息している生き物（昆虫や水生生物）や、きのこのことを知りたいと幅広いニーズが把握できたことから、今後のプログラムに反映していきます。

今年度の森林教室は3校で7回、のべ141人から参加があり、中にはお礼の手紙をいただくなどうれしい出来事もありました。

来年度以降も児童のニーズに合った意義のある森林教室を行い、地域の森林や林業に関心をもってもらえるように努めていきます。

地域の生活とマツ林を守るために

庄内森林管理署

当署には、マツ林の海岸林があり、登山道や散歩コース、レクリエーションの場として地域の人々に親しまれてきました。このマツ林は江戸時代から様々な人たちが植栽を続け、風や飛砂、潮害から人々の生活を守る飛砂防備保安林としても重要な役割を果たしてきましたが、マツ林は今、「マツ材線虫病」によって脅かされています。

体長1mmにも満たない「マツノザイセンチュウ」がマツの幹の中で増殖することで水の通り道を塞ぎ、マツを枯死させます。マツノザイセンチュウ自身に別の木に移動する能力はなく、媒介昆虫である「マツノマダラカミキリ」がマツノザイセンチュウを運ぶことで被害が甚大化しています。

当署では、被害の拡大防止、根絶に向けて防除事業を行っています。予防策としては、マツノマダラカミキリの羽化脱出予測日までに薬剤を地上散布するとともに、マツに穴を開け薬剤を樹幹注入しています。駆除策としては、被害木を伐倒し、粉碎機によってチップ化して幼虫等を破碎する処理やビニールで包んで薬剤によるくん蒸処理を施しています。また、処理した被害木はバイオマス発電の燃料として利用されています。



ビニール内で薬剤によるくん蒸処理

当署ではこれからも地域の人々に親しまれる国有林を目指し、防除事業に取り組んでいきます。

秋田杉の高品質ブランド材について

米代東部森林管理署上小阿仁支署

当支署は、米代川の支流域に位置し、古くから優良秋田杉の産地として、木都能代を中心に全国の製材業者から期待されている地域です。平成25年に資源保護のため、天然秋田杉の供給計画が停止されてからは、代替材としての人工林高齢級秋田杉（概ね80年生以上）の供給が、一層期待されているところです。平成26年からは、秋田県と東北森林管理局とが「秋田を元気にする緑の覚書」を締結し、高齢級秋田杉のブランディングや新たな需要開拓など販売促進をしてきました。

今年度から東北森林管理局では、天然秋田杉の優良産地として有名である米代川流域の3署（米代東部、上小阿仁、米代西部）の高齢級・高品質な秋田杉について、新たなブランドを規定しました。ブランド化後、愛知県の名古屋国有林材協同組合に出材したところ、最高値で通常の6倍（12万円/m³）で販売することができました。



原木市場で評価の高い原木の特徴
①節がない②年輪幅が同心円状に均一に揃っている③心材の赤みが強い等が挙げられる

製品市場で評価の高い「秋田の柁平」と呼ばれる製品の特徴
①目が細かく均一②赤みが強い③大径木からしかとれない平（幅の広い）柁目の製材方法



今後は、生産性向上による大量生産で安定供給を維持しつつ、貴重な資源である高齢級秋田杉についても計画的に伐採搬出ができるようにし、我々職員も良材を見分ける目利きの技術を未来へ継承していけるよう、技術力の向上を図って行くとともに、地域の林産業全般を支えていきます。

豪雨災害からの復旧への取組

青森森林管理署

令和4年8月の記録的な豪雨に伴い、青森県外ヶ浜町や今別町では住宅が損壊するなど甚大な被害が発生したため、当署では治山事業として復旧に向けた取組を進めています。

外ヶ浜町の藤嶋地区では、川が氾濫し流木や土砂が下流の住宅に押し寄せました。災害発生後、藤嶋川上流の国有林内に設置の治山ダムを調査したところ、治山ダム上流側の傾斜の緩い堆砂敷※に流木が大量に堆積していることが確認されました。既設の治山ダムが流木の流下を抑制したものの、今後の降雨に伴い再度下流に流木が流出するおそれがあったことから、当署では、渓流内に堆積した流木を撤去し、再生利用が可能な流木の一部をバイオマス燃料として有効活用しました。



元宇田地区（国道への土砂等流出状況）

また、元宇田地区では、二度にわたって大規模な土砂等が国道へ流出したため、国有林内の沢に設置されている外ヶ浜町のえん堤上流側の土

砂等を取り除いたことに加え、国有林内にワイヤーネットを設置し、流木や土砂の再流出に備えました。

令和5年度はこれらの被災箇所のほか、多くの箇所において青森県及び各自治体と連携しながら本格的に災害復旧工事に取り組んでいきます。

※治山ダムによって捕捉された土砂。その区域。



ワイヤーネット設置後（上流側から）

国有林野所在市町村の魅力紹介

岩手県岩手郡岩手町

盛岡森林管理署

北緯40度に位置する岩手町は、県都盛岡市から北へ約30kmの地点にあり、東側には北上山地、西側には奥羽山脈が連なり、町の総面積の約76%が山林・原野となっており豊かな自然に恵まれています。

その利点を活かし野菜の総合生産地として数多くの野菜が栽培されています。特に栽培の歴史が100年を超えるキャベツは、現在、春系キャベツを中心に東北一の産地となっており、甘さが強くみずみずしいブランドキャベツ「いわて春みどり」は、県内はもとより全国の消費者から高い評価を得ています。また、全国有数のブルーベリー産地

特産キャベツとブルーベリーのPRキャラクター



たまなぼうや



ブルーベリーナ

としても栽培が盛んに行われており、加工品なども各種販売されています。



特産キャベツとブルーベリーの栽培 (写真提供: 岩手町)



ブルーベリージュース (左)
キャベツ酎 (右)

町の中央部を流れる東北一の大河・北上川は、岩手町御堂の御堂観音境内にある泉が源泉となっています。この泉は「弓弭の泉」と呼ばれ、平安時代後期の「前九年の合戦」で源義家がこの地に進軍した際、弓弭 (弓のつるをか

ける先端部分) で岩を突くと清水が湧き出て、炎天下の中で苦しむ兵馬が救われ、闘いに勝利したという伝説があります。



東北一の大河・北上川の源泉 弓弭の泉

子抱の一本杉は町指定の文化財として天然記念物 (巨木) に指定されています。幹回りは6.5m、樹高は約24mで、古くから町内有数の巨木として知られ、樹齢は900~1000年とも伝えられています。この地域は元々天然杉の生息域ではなく、神社や寺にスギを植える風習がありました。現在は、地元の自治振興会が管理を行っています。



子抱の一本杉

彫刻と石神の丘美術館

また、彫刻のある町として岩手県初の野外彫刻美術館が「道の駅 石神の丘」に隣接し、町を一望できる見晴らしのよい場所となっています。

このほか、2020年7月に内閣府より「SDGs 未来都市」に選定され、自治体間で連携する取り組みを行うSDGs ツアーなど様々な事業を進めています。

お問合せ先: 岩手町企画商工課 Tel: 0195-62-2111

国有林野所在市町村の魅力紹介

山形県最上郡最上町

山形森林管理署最上支署

最上町は山形県の北東部に位置し秋田県と宮城県に接しています。この最上町には「堺田分水嶺」があります。一般的に「分水嶺」は山岳の稜線などに存在します。しかしながら、この「堺田分水嶺」は堺田集落内の平坦な場所に存在し、全国的にも大変珍しく観光スポットして知られています。整備された公園内には東屋も設置されており、ベンチに腰をかけながら水路を穏やかに流れる「堺田分水嶺」を眺めてみてはいかがでしょうか。



太平洋と日本海へ分かれる「分水嶺」

国の重要文化財である、旧有路家住宅（通称：「封人の家」）と呼ばれる茅葺きの古民家があります。当時の有路家住宅は、村役場や旅館のような役割を担っていたようで、元禄二年（1689年）には松尾芭蕉が宿泊したとされ「奥の細道」に「封人の家」と記したことからこの呼び名で呼ばれるようになったようです。この建物はクギを使わずに建てられており当時の建築技法を間近で



松尾芭蕉ゆかりの宿

見学できます。「蚤虱（のみしらみ）馬の尿（ばり）する枕もと」俳人松尾芭蕉の句です。当時は住居のなかに馬屋があり大切に育てられたようです（公開期間：4月～11月頃）。

赤倉温泉スキー場は、適度な起伏に富んだ初心者から上級者まで楽しめるスキー場です。駐車場の入口には最上町出身のオリンピック選手や冬季国体優勝者の名前が入った看板が飾られています。スキースクールやレンタルショップも充実しており、小さなお子さんや初心者にも優しいスキー場です。また、グレ食も充実しており行列が出来るラーメン店もあります。スキー場の名前にもあるとおり、近くには温泉もあり一日ゆっくり楽しめます。



みんなで楽しめるバリエーション豊かなコース

山刀伐峠は最上町と尾花沢市の境に位置する全長約4kmの峠道です。「山刀伐」の名前の由来は山仕事や狩りをする際に被る「なたぎり」に似ているからだそうです。俳人松尾芭蕉が歩いた「奥の細道」の中で通った歴史の道であり、最大の難所だったようです。山頂までの道のりは曲がりくねった道が続き、傾斜がきつい箇所もありますが、現在では遊歩道も整備されており、スニーカーでも十分散策ができ気楽に森林浴やトレッキングを楽しめます。



ブナの原生林が美しい山刀伐峠

お問合せ先：最上町商工観光課 Tel.0233-43-2262

1. 松くい虫被害対策

昨年度、東北森林管理局管内国有林で発生した森林病虫害のうち、被害が最も大きかった「松くい虫被害」について概要と対策を紹介します。

松くい虫被害の正式な病名は「マツ材線虫病」といい、マツノマダラカミキリ（以下、カミキリ）等にマツノサイセンチュウ（以下、線虫（体長1mm））がくっついて移動することで媒介され、線虫がマツに侵入・増殖してマツが枯れてしまう伝染病です。管内国有林では昭和50年代に宮城



カミキリ（左）、線虫（右）

県内で初めて被害が確認され、昨年度の被害は約13,200㎡となっており、その大半が日本海側の海岸林で発生しています。

当局で実施している松くい虫被害対策は大きく分けて予防対策と駆除対策に分けられ、予防対策には健全なマツにあらかじめ薬剤を注入する「樹幹注入」や薬剤を散布する「地上散布」があり、駆除対策には被害木を伐倒・破碎もしくは焼却することで被害木中のカミキリ（幼虫・さなぎ）を駆除する「特別伐倒駆除」や伐倒・薬剤くん蒸処理する「伐倒駆除」があります。



予防対策：地上散布

今後も引き続き、関係機関と連携して予防や駆除等の対策を実施し、被害の防除に取り組んでま

いります。

2. ニホンジカ対策

近年、ニホンジカの生息区域が拡大し、農林業被害や生態系への影響が懸念されていることから、被害拡大防止のため当局が実施しているニホンジカの捕獲事業等について紹介します。

捕獲事業は、ニホンジカの通り道（獣道等）にくくりワナを設置し、その周辺に餌をまいて捕獲する事業で、岩手県内の三陸北部署、三陸中部署、遠野支署の3署4地区で実施しています。ニホンジカの捕獲にICT技術を活用した見回り手法や、ニホンジカが好む餌の調査結果等について各県等へ情報提供をしています。



誘引餌に集まるニホンジカ

また、岩手県が実施する指定管理鳥獣捕獲事業を支援するため、三陸北部署と遠野支署が岩手県と協定を締結し、狩猟現地までの林道の除雪と餌による誘引を行っています。冬期における狩猟者の捕獲効率を上げる捕獲支援をすることにより、これまで多くのニホンジカが捕獲されています。

ワナの貸出協定では、ニホンジカによる農林業被害が多い、岩手県、宮城県の関係市町村等とくくりワナや囲いワナの協定を締結し、ニホンジカ捕獲の一役を担っています。

こうした取組により、昨年度は1,460頭が捕獲されました。今後も関係機関と連携し、被害防止に向け取り組んでまいります。

使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

国有林モニター制度

林野庁では、国有林野の管理経営に国民の皆様のご意見・ご提案を役立てるため、「国有林モニター制度」を設けています。

東北森林管理局においては、令和4年4月から2年間の任期で管内5県にお住まいの47名の方に国有林モニターとして活動いただいております。

モニターの方には、毎月の広報誌等の送付や造林事業、治山事業箇所等での現地見学会を通して、国有林野事業への理解を深めてもらい、アンケートへの回答やモニター会議により、国有林野事業についてのご意見・ご要望をいただきます。



現地見学会の様子（オオシラビソ再生の取組）

アンケートは、森林と生活に関する一般的なものや、ナラ枯れなど話題となっているテーマの意識調査もあり、自治体や業界の方にも参考となるものとしています。また、山林所有者など森林とつながりのあるモニターからは、国有林の様々な取組について知ることができ、モニター活動がよい勉強となったというお声も頂戴しています。

これまでのモニター活動の概要やアンケート結果等については、東北森林管理局のホームページ「国有林モニター」のページに公表しています。様々な方々の視点は、新たな気づきへの一助となりますので、是非ご覧ください。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/policy/business/kokuminsanka/monitor/index.html>)



ご関心のある方は、東北森林管理局企画調整課
(TEL:018-836-2228)までお問合せ下さい。

新たなプロジェクトの始動

秋田県立大学では、国立研究開発法人・科学技術振興機構の「共創の場形成支援プログラム」への提案が認められ、今年度から2年間のプロジェクトに取り組んでいます。

このプロジェクトは、「技術×教養×デザインで拓く森林資源活用による次世代に向けた価値創造共創拠点」の実現に向けて、秋田県立大学が代表機関となり、2つの公立大学（国際教養大学、秋田公立美術大学）の他、3つの自治体と12の民間企業が参画しています。公立3大学の強みである「技術・教養・デザイン」を森林資源の多角的活用という切り口に集約しながら、Z世代を中心に自治体、民間企業、県内外の優れた人材がワンチームとなり、地域内外の交流と世代間の継承によって新しい循環システムを共創する価値創造拠点の構築を目指します。技術が木材としての森林の可能性を広げ、教養が地域文化を相対化してその価値を引き出し、デザインが地域社会への実装を主導していくプロジェクトを志向しています。

プロジェクト活動の一環として、2022年11月から「ソウゾウの森会議」を開催しています。

「ソウゾウの森会議」は、自分らしい生き方を想像し、秋田という風土のなかで暮らし方と働き方を創造する人々が集う場で、100人の起業家精神を持った人々の生態系をつくり、そこから次の100人が自然発生するような仕掛けづくりを目指しています。



「ソウゾウの森会議」の風景

ご関心のある方は、秋田県立大学・木材高度加工研究所
(TEL:0185-52-6900)までお問合せ下さい。

地域のこの人

民話の里 遠野の森林に携わって

岩手県国有林材生産協同組合連合会
遠野地区国有林材生産協同組合 事務員 多田菜穂子さん

当組合は遠野市に事務所があり、理事長ほか素材生産2班14名、夏季主体に稼働する造林3班20名及び事務員2名の計36名が所属しています。

当組合では国有林が発注する素材生産請負を年間約1万³m、造林請負を年間約250ha受注しています。また、冬季間等請負事業の無い期間は、国有林等から立木を購入し年間約5千³mの素材生産を実行しています。

私は入組して8年目になります。私の仕事の一つに素材検知があり、現場へ行って^{はいづみ}桎積調査をします。高く積み上げた桎毎に丸太を調査するので、桎の安定、丸太の落下、脚立からの転落等に注意し安全な作業を心掛けています。

現場への道すがら、沿道に立ち並ぶ石碑や水田越しに見える水車や祠は、日本の原風景と言われる遠野ならではの景色を見ることができます。

また、雄大な自然の中で初めて走る林道にワクワクし、リスなど小動物との出会いがあり毎日が楽しく、女性の私にもやりがいを感じる職場です。

上司や同僚は、知らないことの多い私に親切に指導してくれたり、現場に簡易トイレを設置してくれたりと山で働く方々は皆優しい人達です。

山や自然が好きな女性の方、林業への就業にチャレンジして林業女子になりませんか。



伐採後の丸太の前で

国有林を管理する国家公務員「森林官」

秋田森林管理署 千屋森林事務所
森林官 畠山 大樹さん

当事務所は、秋田県南部の大仙市・美郷町を中心とした奥羽山脈一帯の国有林約1万haを管轄し、管内には、真木真昼県立自然公園があります。秋田・岩手両県の景色が広がる奥羽山脈稜線の縦走や美しい滝が連なる真木溪谷・川口溪谷の^{たに}溪歩きを求める登山客が絶えません。そのため、登山口につながる各国有林林道の維持修繕などの管理が大事な業務の一つです。大雨が予想される日は雨雲が通り過ぎることを祈るばかりです。幸い、今年には林道被害もなく、大仙市や美郷町主催の登山イベントが順次開催されており、日頃の管理の重要性を改めて実感しています。興味のある方はぜひイベントに参加してみてください。

さて、私が今の職場を選んだ理由にはインターンシップで国有林に触れる機会を得られたことが影響しています。それまでは林野庁のこともよく知らず、林業にも木を伐る仕事というイメージぐらいしかありませんでした。ですが、学んでみると「木を育てる」「林道・治山ダムを造る」「自然を守る」「土地を管理する」「これらを一体とした森林計画を作る」など様々な業務があると知り興味を持った事が大きな決め手となりました。

転勤を伴う職場ですが、自分が知らない土地でその地域特有の文化を見聞きし触れながら様々な体験ができる良い職場だと思っています。読者の皆さんも国有林を管理する森林官として働いてみませんか。



生産状況を確認する様子

2月中旬～下旬

第65回わんこそば全日本大会

2月11日(土)
お椀に次々に入れられるそばを5分
で何杯食べられるか競います
(岩手県/わんこそば全日本大会運営委員会)

蔵王に登ろう！山ガール教室③

2月11日(土)
自然の美しさや環境に触れ、登山
の楽しさを味わいましょう
(宮城県/宮城県蔵王自然の家)

大館アメッコ市

2月11日(土)～2月12日(日)
この日にアメを食べると1年中風
邪をひかないと言われてます
(秋田県/大館市)

犬っこまつり

2月11日(土)～2月12日(日)
400年続く伝統行事。冬花火、物産
品販売などイベントもあります。
(秋田県/湯沢市観光物産協会)

第52回新庄雪まつり

2月11日(土)～2月12日(日)
マルシェや雪上運動会・花火など
各種イベントを開催します
(山形県/新庄雪まつり実行委員会)

第46回上杉雪灯籠まつり

2月11日(土)～2月12日(日)
約200基の雪灯籠と約1,000個の
雪ぼんぼりにともしびが灯されます
(山形県/上杉雪灯籠まつり実行委員会)

十二所かまくらやき

2月14日(火)
落ち葉を詰めた俵に火をかけて、
さかんにふりまわします
(秋田県/大館市)

いわて八幡平白銀国体

2月17日(金)～2月20日(月)
「白銀に映えるみんなの夢・未来」
をスローガンに冬期国体を開催
(岩手県/日本スポーツ協会・八幡平市国体実行委員会)

2月中旬～下旬

第47回遠野物語ファンタジー

2月18日(土)～2月19日(日)
遠野に伝わる昔話や歴史を題材に
市民が作り上げた舞台です
(岩手県/遠野市民センター)

企画展「雛人形」

2月18日(土)～3月19日(日)
伊達家ゆかりのあでやかな雛人形
は必見
(宮城県/角田市郷土資料館)

第12回かくだ牟宇姫ひなまつり

2月18日(土)～3月19日(日)
市内各所につるし雛などの展示。
街なかが雛飾りで彩られる
(宮城県/角田市産業建設部商工観光課)

乳穂ヶ滝氷祭神事式

2月19日(日)(事前予約制)
豊饒を祈願し氷柱の下で豊凶占い
などの護摩祈禱を行います
(青森県/西目屋村観光協会)

行けるとこまで行ってみよ

2月19日(日)
雪に包まれたこどもの森の園内で
雪をかきわけて遊びます
(青森県/弘前市みどりの協会)

第38回七ヶ宿ジャイアントスラローム大会

2月19日(日)
第38回を数える大回転スキー競
技会
(宮城県/七ヶ宿GS大会事務局)

鉄道フェスタ2023in遠野

2月25日(土)～2月26日(日)
鉄道に関する展示や駅弁、三陸鉄
道などの鉄道グッズを販売します
(岩手県/遠野市)

金峯山雪灯籠祭(金峯山山開き)

2月27日(月)
金峯山山開きに合わせて行われ、
大黒様の雪像や雪灯籠が並びます
(山形県/金峯神社)

3月上旬

第36回夜越山洋ランまつり

3月1日(水)～3月21日(火)
東北最大の広さを誇る温室で
150種類の洋ランを楽しめます
(青森県/平内町)

奥州水沢くくり雛まつり

3月1日(火)～3月5日(日)
水沢の優雅なくくり雛(押し絵の
技法で作られた雛人形)を展示
(岩手県/(一社)奥州市観光物産協会)

溪流釣り

3月1日(火)～9月30日(金)
3月1日～9月30日まで溪流釣
りが解禁されます
(宮城県/蔵王漁業協同組合)

雪の学校～マタギと一緒に残雪の森をトレッキング

3月4日(土)～3月5日(日)
スノートレッキング、雪山斜面を
尻滑りなどを体験(事前申込制)
(山形県/やまがたアルカディア観光局)

シルクフラワーフェスタ

3月4日(土)～3月12日(日)
毎年恒例のまゆ加工作品の展示・
即売会で開催します
(宮城県/南三陸町ひころの里「シルク館」)

ウィンターフェスティバルinモヤヒルズ

3月5日(日)
スキーやスノーボード、雪上ゲー
ム等、多数のイベントを開催！
(青森県/青森市文化観光振興財団)

「ひがしゆり雪まつりツアー-2023」雪中キャベツ収穫体験

3月5日(日)
雪の中で糖度を増した甘くておい
しいキャベツを自分で収穫します
(秋田県/東由利グリーンツーリズム研究会)

第24回遠野町家のひなまつり

～3月5日(日)
遠野市内の各お店、家庭に代々伝
わるお雛様が町中で楽しめます
(岩手県/遠野駅周辺商店街等)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

